

日本ラグビーフットボール協会「女子ラグビー中長期戦略計画」 に関する自治体ワンチーム提言

ラグビーの応援・発展を志す全国の自治体で構成するラグビーとの地域協創を推進する自治体連携協議会（以下「自治体ワンチーム」という）は、日本ラグビーの発展に寄与する活動を進めています。

また、2021年に制定した中期活動方針（2021-2024）では、「ラグビーが世界一身近にある“まち”へ」を活動理念として掲げ、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（以下「JRFU」という）に寄り添いながら、地域からのラグビー競技の普及、日本ラグビーの発展、ラグビーを契機とした地域振興・まちづくりの促進を進めていくことを確認しています。

今回 JRFU から「女子ラグビー中長期戦略計画」が公表されました。

国際競技連盟である World Rugby においても、女子ラグビーの重要性が強調され、それに伴い強豪国のラグビー協会が女子ラグビーの独自戦略の策定・発信を進めています。

「女子ラグビー中長期戦略計画」女子ラグビーのミッションを、

- ・生涯に亘って女子ラグビーを日常的に感じ、ウェルビーイングをもたらすラグビーコミュニティ形成
 - ・誰もが個性を発揮し、参加できる社会実現
- と定義し、ビジョンとして、
- ・競技で培ったリーダーシップを、社会で発揮する女性のロールモデル輩出
 - ・ラグビーを通して多様性の価値を体現・発信する先駆者となる

を掲げられています。

JRFU が推進する「JAPAN RUGBY 2050」及び「中期戦略計画 2021-2024」のターゲット「ワールドカップを再び日本に招致し世界一になる」を達成するうえでも、同戦略計画は非常に重要な位置づけを持つものとされています。

直近のラグビーワールドカップ開催地は男女同国に選定され、今後の開催地も男女セットで選定される可能性があるかとされています。ワールドカップの再招致に向けては、男女問わず日本全国におけるラグビーの継続した盛り上がりが必要と考えています。

自治体ワンチームは、JRFU が、「女子ラグビー中長期戦略計画」の基、全国各地において行う、女子ラグビーの普及・発展、ラグビーを通じた女性の活躍促進に向けた取組の推進に、協力、連携して取り組んでまいります。

令和5年6月30日

ラグビーとの地域協創を推進する自治体連携協議会